

第3回の野焼きは2月23日(日)に 野焼き実行委員会で決定

7月10日(火)、城島高原ホテルで猪の瀬戸湿原野焼き実行委員会が開催され、今年は、環境省くじゅう自然保護官事務所の新田一仁氏、県生活環境企画課の岩下賢一氏、別府市役所の小林文明、平松淳一、小野嘉子の3氏、消防署の担当者2名、城島高原ホテルの関係者が出席しました。

本会からは、川野理事長、生野副理事長他、役員の小田毅、児玉清一郎、藤内広三の5名が出席し、昨年度の活動報告をはじめ、今年度の計画を説明し、次の野焼きは来年2月23日(日)に実施することが決まりました。

会議の中では、湿原保全に関して様々な問題が提起され解決方法を話し合うことができました。

まず、盗掘防止のための柵や踏圧をやわらげる木道の設置については、「長期間に及ぶものは環境省の了解を得て施工してもらいたい」。

三差路に建つ業者の看板については自然景観を損ない望ましくないが、設置者が撤去する意向を示さないので、時間をかけて説得していく。

湿地内に不法投棄された古タイヤについては、経費を伴うので県や市など行政機関で検討していく。

保全の会は会員のボランティア活動で支えられているので、活動にかかる経費について補助する制度などがあれば情報提供をいただき、その制度を活用していきたい。

といったことが、話し合われました。

保全の会は湿原の保全、生物多様性の推進を図るため当面、

- ①会員の高齢化が顕著であり、若者の参加を呼びかける。
- ②毎年の活動経費(燃料費や機材の修理費等)の安定的な確保に向けた取り組み。
- ③小中学生や青年層との交流会(観察会)実施。
- ④トイレや駐車場の確保。

などに向けて取り組むので協力をお願いしたいと伝えた。

*1. コケイランは準絶滅危惧種で、今年野焼きした後の湿地で生育が確認されました

*2. サワギキョウは絶滅危惧種Ⅱ類で、2011年まで確認されましたが最近確認できていません



コケイラン (ラン科) *1



サワギキョウ (キキョウ科) *2